

## WHY DON'T YOU TRY LEARNING ENGLISH?

英語レッスンを貴方のスケジュールに入れてみませんか？

今は脳化学の分野の研究が発達して、今までは不明瞭だったことも段々解明されつつあります。数か月前、夕方のニュース番組で、観光地浅草の仲見世商店街の店主、店員たちが、高年齢にもかかわらず(60~80代)、日常カタコトながらも外国のお客様に英語を使うことによって、脳の検査結果、同じ年齢の人の脳に比べて、若いことが分かったことが報道されていました。

言語は実用的で、世界の人との繋がりを持たせてくれます。2020年のオリンピックでは、日本が今以上に世界中から注目を浴びるきっかけを作ることでしょう。戦後長い間、欧米に学べ、と先進国の仲間入りを果たしたのですが、今は、外国人から私達は日本の良さを再認識しています。日本食、ファッション、技術、正確さ、緻密さ、国民の繊細さ、優しさ、芸術的センス、などなど枚挙にいとまがありません。ギター作り一つをとっても、素晴らしい職人技、ということで、お茶の水の中古楽器店はネットで世界の注目を集め、お店は連日外国からの観光客で嬉しい悲鳴を上げているようです。みな口々に「日本のギターは世界一、もっと注目されるべき」と絶賛しています。

戦後から続いた外国コンプレックスの代わりに、これからは積極的に日本をアピールする時代が訪れたのではないのでしょうか？完全な英語でなくても、ボディランゲージを交えながら英語でコミュニケーションが取れたら、人生をより豊かに感じられるはずです。そして記事のように若返りのためにも、英語レッスンを生活の一部にしていきたいものです。

CARL & JUNKO SHISHIDO

私の従弟が下記の記事を送ってくれました。「だから、自分(従弟)も英語学習を日常の習慣に取り入れようかな」との思いを添えて。

新しい言語の学習が年齢に関係なく脳を構造的に強化することが明らかに



By [Lei Gao](#)

多言語を勉強することで「脳力」が鍛えられ、認知症防止にもつながるという研究結果が発表されていますが、母国語以外の言語を学習することは、年齢に関係なく物理的に脳の構造に変化を与えて、脳の機能を向上させることが新たにペンシルベニア州立大学の研究によって明らかになりました。

Learning languages is a workout for brains, both young and old | Penn State University

<http://news.psu.edu/story/334349/2014/11/12/research/learning-languages-workout-brains-bot-h-young-and-old>

PENNSYLVANIA STATE UNIVERSITY

Stay Connected For the Media Contact Us Search Penn State

News for: STUDENTS VISITORS & NEIGHBORS FACULTY & STAFF  
 BUSINESS & INDUSTRY ALUMNI

News from: CAMPUSES COLLEGES

Monday, November 17, 2014

# PENNSYLVANIA STATE NEWS

Home Research Academics Impact Campus Life Athletics Administration Arts and Entertainment

Researchers might be able to predict how easily you can learn a new language by observing your brain network.

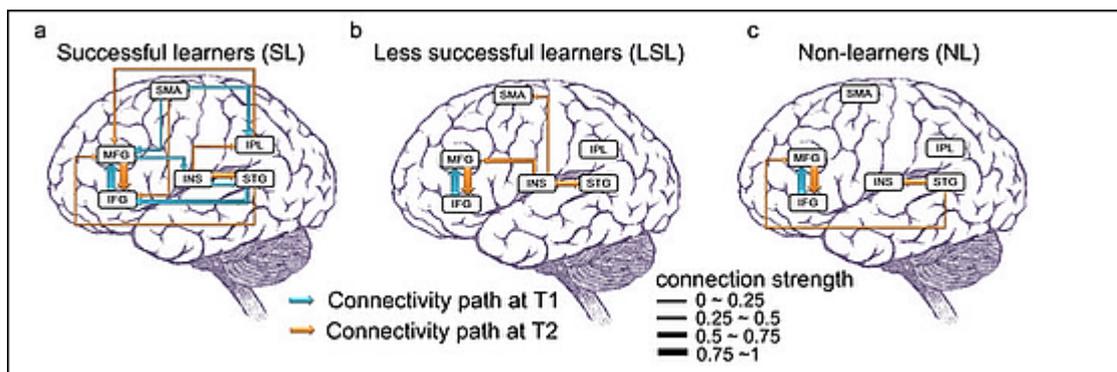
Image: Ping Li Lab

## Learning languages is a workout for brains, both young and old

ペンシルベニア州立大学の心理学・言語学・情報科学・テクノロジー学部のピン・リー教授の研究によると、母国語以外の言語学習が、学習者の脳内ネットワークを構造的・機能的に強化させることが判明しました。リー教授は「第二言語の学習は脳の特定エリアを使用するため、脳を強化させたり、成長させたりする『脳の体操』のような効果があるのです」と話しています。

リー教授の研究チームは、英語を母国語とする 39 人のイングリッシュスピーカーを集めて、半数の参加者に 6 週間にわたって中国語のボキャブラリー学習を行わせるという脳の研究を実施しました。新しい語彙を学習したチームは、学習を行わなかったチームに比べて学習した語彙を覚えるまでの目的達成率が高くなっており、脳内ネットワークが強化されていることが判明。「新しい言語を学習する」というタスクが、脳の柔軟性と効率性を上昇させるのに適した作業であるということが分かりました。

また、学習開始前と開始後に参加者たちの脳を MRI でスキャンしたところ、脳内ネットワークをつなぐ神経が学習前に比べて物理的に発達していたとのこと。また、この効果は学習者の年齢に関係なく得ることができることも分かっています。リー教授は「最も興味深い発見は、従来の研究に反して脳は我々が考えていたよりも柔軟だったことです。また、新言語の学習が人々に『美しい老化』をもたらすかもしれません」と話しています。



なお、研究チームはより効率的に脳内ネットワークを強化できる方法を模索しており、バーチャル 3D 環境を用いた対話型言語学習システムの開発を開始しているとのこと。この研究はアメリカ

カ国立科学財団(NSF)の支援を受けており、言語学習プロセスによる脳の機能強化に関する研究が進むことで、将来的には、大人であっても、言語を習得しやすいと言われている子どものように簡単に言語を習得できるようになるということです。